



## 「カリブの夢プロジェクト」

校長 善 由美子

1月半ば、カリブ海にあるセントルシアにJICA海外協力隊理解促進調査団として行ってきました。令和9年度より4年間、本校の理療科教員が指圧師の養成を行うことを主な目的として活躍することが決まっています(ホームページ「ようこそ校長室へ」掲載)。セントルシア視覚障害協会への訪問や外務省表敬(1/24佐賀新聞掲載)、特別支援学校の視察なども行いました。この「カリブの夢プロジェクト」は、佐賀県国際交流協会の黒岩理事長さんがJICA隊員としてセントルシアでボランティア活動をされたとき、視覚障害者の方々が家の中に引きこもっている現状に何かできることをと思案されて立ち上げられました。10年目を迎えます。指圧師の養成をするために隣国のカリキュラムを学びに行かれたり、養成のための環境づくりを整えるために多方面に赴き、活動の意義を訴えられたりとここまで来るのに相当な尽力をされています。さあ、本校職員が何を感じ取ってくれるのか、何を現地で残してくれるのか、何を佐賀に持ってきてくれるのかとても楽しみでなりません。またこうした国際交流がこの佐賀の地でできることも素晴らしいことだと思っています。



## 鍼供養、はり・あん摩競技会および国家試験について

1月30日(金)、鍼供養とはり・あん摩競技会を実施しました。本行事は、日頃から使用している鍼への感謝を示すとともに、技術の向上を願う目的で長年受け継がれてきた本校独自の伝統行事です。式典では、代表の生徒が古い鍼を豆腐に刺して、全員で黙祷を捧げました。その後、競技会が行われ、生徒たちは日々培ってきた技術を披露しました。競技後には審査員からの講評があり、生徒たちは自身の課題と向き合い、さらなる向上への意欲を高めていました。

また、2月21日(土)・22日(日)には、あん摩マッサージ指圧師、はり師およびきゅう師国家試験が実施され、本校から保健理療科3年生1名、専攻科理療科3年生2名が受験しました。3年間の学びの成果を発揮して、これまでの努力が実を結ぶことを

期待しています。合格発表は、

3月26日(木)です。



# 幼小小学部

## 【音楽あそび】

週に2回、みんなが集まって、手遊びや楽器遊びやダンスなどをして楽しんで



います。また、幼児児童同士の関わりも大切にしながら活動を行っています。1年間継続して取り組んだことで、活動の流れが分かり、見通しをもって参加できる幼児の様子も見られるようになってきました。活動の最後は、振り返りの時間を設定し、幼児児童それぞれの方法で音楽あそびのことを振り返っています。

# 中学部

## 【プレゼン発表会】

中学部では、自分の思いを自分なりの方法で、わかりやすく相手に伝える力を身につけることを目標に、毎年2月に「中学部プレゼン発表会」を行っています。生徒たちは自分で集めた情報を整理し、まとめて、表現するまで、時間をかけて準備と練習をします。



それぞれの思いがあふれ、お互いを理解する素晴らしい場となっています。

今年の発表のテーマは以下のとおりです。

- 1.「ぼくにとっての音楽について」
- 2.「職場体験について」
- 3.「九州地区盲学校音楽大会熊本大会を振り返って」

# 高等部

## 【一年間の集大成】

理療科では学年末考査が行われました。広範囲で難易度の高い学習内容ですが、計画的に学習に励み、努力の成果が発揮できたでしょうか。国家試験合格という目標に向けて、今後も日々の学習に励んでほしいと思います。

普通科では作業製品販売会が行われました。生活単元学習や作業学習で製作した製品は、どれも力作で、たくさんの方々に購入していただきました。一年間の学習を通して、働くことの喜びや達成感を体験し、意欲を高めることができたのではないのでしょうか。



# 寄宿舎

## 【高知県立盲学校とのオンライン交流】

1月28日(水)、初めて県外の寄宿舎とオンライン交流を行いました。最初は緊張していた舎生も、会が進むにつれて笑顔が増え、アドリブのやり取りも見られるほど、ほのぼのとした雰囲気の中で交流ができました。

交流後には「勉強の難しさを共有出来てよかった」「アドリブが最高だった」「また参加したい」といった前向きな感想が寄せられました。

県外の舎生との関わりを通して、新たな学びや気づきのある貴重な体験となりました。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？  
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましよう。  
相談は無料です。秘密は厳守します。  
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校  
目の支援センター  
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672